

工事施工の問題点及び解決

株式会社 町組

現場代理人 岩崎 保美

工事名 平成 21 年度 1 号藤枝東部地区橋梁補修工事

工期 平成 21 年 9 月 11 日～平成 22 年 5 月 12 日

請負金額 ￥1 2 5, 4 7 5, 0 0 0 (税込み)

発注者 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 管理 2 課

工事内容 橋台橋脚補修工 1 式、橋梁床版工 1,357m²、構造物撤去工 1 式
橋梁付属物工 1 式、舗装工 5 1 8 m²、区画線工 1 式、
橋脚巻き立て工 1 6 7 m²、仮設工 1 式

当工事は、国道 1 号線及びバイパスに掛かる岡部川橋と横内新橋の橋台橋脚及び床版の補修工事、横内新橋では舗装工事と落橋防止装置設置工事を行いました。



施工上の問題点

- ① 橋脚コンクリート巻き立て工、今回施工は発注者指定型により PP 工法(新技術)を活用する工事でした。施工時期は、12 月から 2 月と気温が一番低い時期で施工中の温度に問題がありました。
- ・ 施工中は、気温 5 度以下では施工をしてはいけない。
朝、晩はやはり冷え込み、5 度を下回る日が予想されました。

対策

- 1) 施工箇所(橋脚)をブルーシートと厚手のシートの 2 重で覆い施工箇所の気温低下を防止する。
- 2) 施工箇所(橋脚)内に、24 時間測定及び記録できる温度計を設置し、温度管理をする。
- 3) 気温低下が予想されるときは、施工箇所(橋脚)ブルーシート内をジェットヒータにより温度低下を防止する。
- 4) ジェットヒータで保温中は、施工箇所の急激な乾燥を防ぐため、施工箇所に直接シートを巻きつけ、急激な乾燥によるクラック防止をしました。



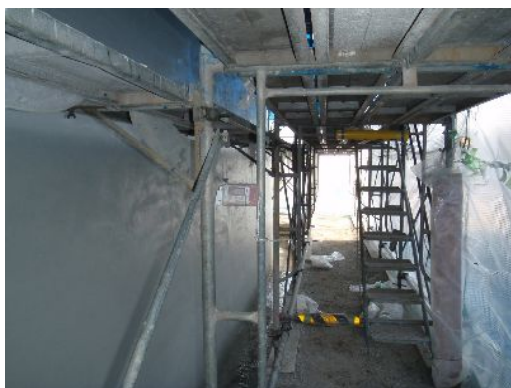
施工箇所(橋脚)をシートで覆う



施工箇所をジェットヒータで保温



急激な乾燥を防ぐ養生シート



施工箇所に 24 時間測定記録できる温度計

結果

- ・ 施工中は、天気予報と足場内部に設置した温度計により気温低下の予想ができ、気温の低下が予想されるときは、シートとジェットヒータによる養生を行うことにより施工箇所の気温低下はなかった。心配されていた、構造物の急激な乾燥によるひび割れは、直接構造物に巻いたシート養生でひび割れ等はなかった。